



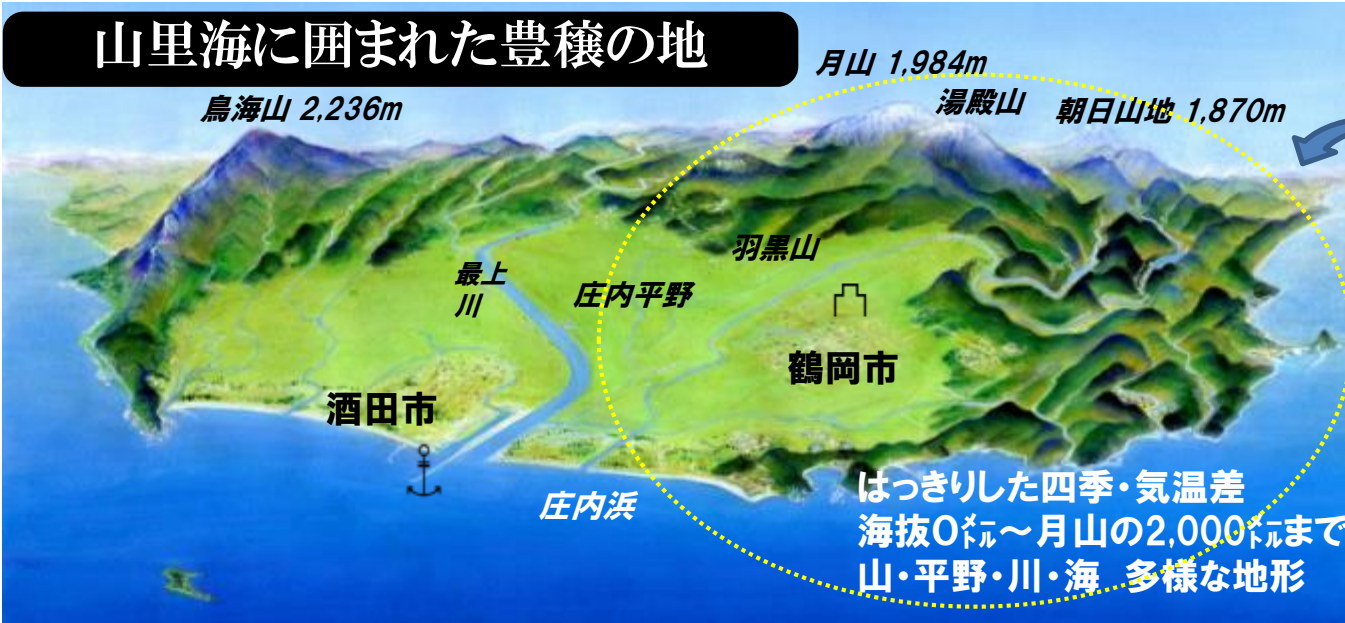
ユネスコ食文化創造都市・鶴岡 インバウンド観光の推進と交通施策



1. 鶴岡市の概要
2. 国内外に誇る鶴岡の魅力
3. インバウンド観光推進の取組
4. 『食と農の景勝地』の認定
5. 食文化による世界交流のまちづくり
(取組事例)
6. 鶴岡市地域公共交通網形成計画
…交流活性化プロジェクト…

1. 鶴岡市の概要

山里海に囲まれた豊穡の地



- ◆ **市町村合併** (平成17年10月) 1市4町1村による新設合併
- ◆ **人口と世帯数** (住民基本台帳H29.3.31) 129, 323人 / 48, 486世帯
うち65歳以上 : 42, 499人 (高齢化率32. 9%)
- ◆ **面積** 1, 311. 51km² (東西43. 1km 南北56. 4km)
- ◆ **アクセス** ○空路 : 羽田から約1時間 ○鉄道 : 新潟から約1時間50分
○高速バス : 仙台から約2時間30分 / 大阪から約11時間30分



2. 国内外に誇る鶴岡の魅力

出羽三山：自然と信仰が息づく『生まれかわりの旅』



JAPAN HERITAGE



「現在の世を表す山」～羽黒山～（山伏と国宝・五重塔）



「過去の世を表す山」
～月山～

「未来の世を表す山」
～湯殿山～



JAPAN HERITAGE



松ヶ岡開墾場の蚕室

「サムライゆかりのシルク」

明治維新後、旧庄内藩士3,000人が刀を鋤にかえ荒野を開拓



鶴岡シルク
kibisoブランド

2. 国内外に誇る鶴岡の魅力

食文化：2014年 日本初のユネスコ食文化創造都市に認定



出羽三山の精進料理

生きた文化財「在来作物」



だだちゃ豆



温海かぶ



民田なす

2. 国内外に誇る鶴岡の魅力



ユネスコ創造都市ネットワーク食文化分野加盟都市

鶴岡市は世界18都市の1つであり
日本で唯一のユネスコ食文化創造都市です



ユネスコ創造文化都市ネットワークとは…

ユネスコが2004年に創設。加盟する都市が国際ネットワークの中で連携して、創造的な産業の成長により、文化の多様性保護と世界の持続的発展に貢献することを目的とした制度。

ネットワークへの加盟をめざす都市は、①文学 ②映画 ③音楽 ④クラフト&フォークアート ⑤デザイン ⑥メディアアート ⑦食文化 の7分野から1つを選んで申請し、ユネスコ本部(パリ)の審査を経て加盟登録する。

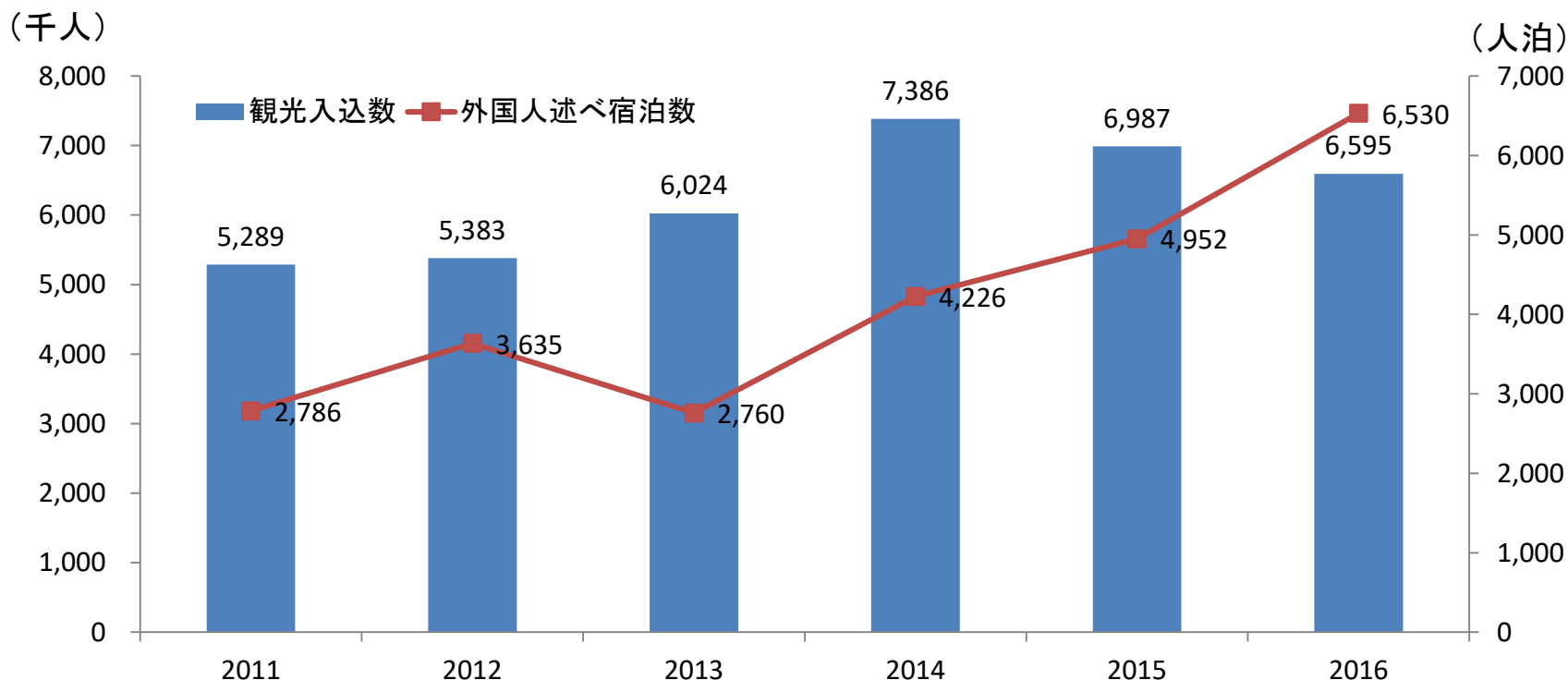
3. インバウンド観光推進の取組

- インバウンド・アクションプランの策定
(2015年度から5か年・外国人宿泊者数4,000人から40,000人へ)
- 「食と農の景勝地」取組計画の策定 (H28-32)
- 2015年ミラノ万博出展、2016年パリプロモーション展開
- 自治体国際化協会パリ事務所への市職員派遣 (2015～)
- 広域観光周遊ルート～日本の奥の院・東北探訪ルート連携
「酒田・鶴岡・出羽三山」として16拠点の一つに選定
- 2017年 酒田港大型クルーズ船初寄港時の観光PR実施
- 新潟市との食文化創造都市連携
外国人メディア招聘、国際線機内誌、訪日観光サイトでの発信等

3. 鶴岡市における観光振興の取組

参考資料

観光入込数と外国人延べ宿泊者数の推移



※2014年度は山形DC開催年

5年間で観光入込数は 24.7%の増加
外国人延べ宿泊者数は134.4%の増加

4. 『食と農の景勝地』の認定



H28「食と農の景勝地」取組認定地域 (出展：農林水産省ウェブサイト)



4. 『食と農の景勝地』の認定

ビジョン・目標

ユネスコ食文化創造都市で体感する食と風土

目的・ストーリー

鶴岡市は、平成26年(2014)12月にユネスコ食文化創造都市ネットワークに加盟。価値ある食文化資源を活かし「食文化の学び」と「体験の場」を提供することで、世界中から食文化を楽しみ、学ぶ人々を鶴岡に誘客することによる地域産業の振興と、地域資源を維持発展させる好循環を形成する地方創生の取り組みを实践

推奨ルート① (5泊6日)

周遊・
組合せ

推奨ルート② (5泊6日)

羽黒山伏が伝える「精進料理の世界」と「生まれかわりの旅」

～一つの種が育んだ生命の食文化～
＜コンセプト＞

1400年の歴史を刻む出羽三山。三山を巡ることは時空を超えた「生まれかわり」の旅を意味し、その歴史とともに、生きるための「食文化の原点」を「山伏」と地域の人々が伝承してきた。

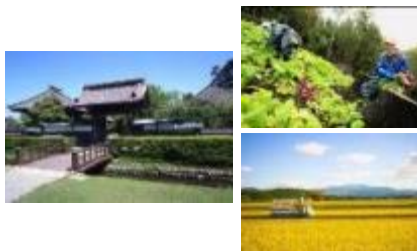
「種」から始まる大切なストーリーは、世界中の人に伝えたいメッセージ。この地で体感する新しい発見は、幾度もこの地に足を運ばせる・・・



城下町の風土と食と農の原風景を体感する旅

～庄内藩が見守ってきた
庶民の伝統行事と郷土食～
＜コンセプト＞

旧庄内藩のご当主が今も住まわれる城下町としての文化や、山・川・平野・海からなる壮大な自然、「生きた文化財」の在来作物など知恵と工夫の農林水産業のストーリーの現場を巡り、「食と農のある暮らし」そのものを体感する。



【インバウンド10倍計画】

4,000人→40,000人へ(延べ宿泊数)

■対象国 フランス・イタリア・ドイツ
アメリカ・オーストラリア

■平成32年度 6,000人泊(うち対象国分)

■満足度 80%以上

【5か年計画の主要事業】

- 食文化情報発信拠点となる駅前観光案内所の整備開設
- 英語対応可能な鶴岡ふうどガイド育成
- 農林漁業体験受け入れサポーター登録制度の創設
- 主要ルートを基本とする鶴岡ツーリズムの実践展開
- ビエンナーレ「食と風土の祭典」開催
- 対象外国人観光客満足度調査
- 2次交通調査・整備
- 主要観光地へのWi-Fi整備 等

4. 「食と農の景勝地」の認定…取組計画 (ソフト)



年度		H28	H29	H30	H31	H32
K P I	対象外国人 延べ宿泊数	500人泊	1,000人泊	3,000人泊	4,000人泊	6,000人泊
	対象外国人 旅行満足度	70%以上	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上
人材育成		<ul style="list-style-type: none"> ・外国語ガイド等養成 ・ツーリズム受入実践者育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人対応研修会開催 ・国際交流員の配置 (JETプログラム) 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流員の配置 (JETプログラム) 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流員の配置 (JETプログラム) 	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流員の配置 (JETプログラム)
ツーリズム		<ul style="list-style-type: none"> ・実践組織体制の整備 ・主要ルートの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターツアーの実施 ・サポーター登録創設 	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡ツーリズムの実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡ツーリズムの実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡ツーリズムの実践
市民参加		<ul style="list-style-type: none"> ・プレビエンナーレの企画と実施体制の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレビエンナーレの内容検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレビエンナーレ開催 ・第1回ビエンナーレ検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回ビエンナーレ準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回ビエンナーレ開催
学びの場		<ul style="list-style-type: none"> ・フードデザイン国際カンファレンスの開催 ・食のフィールドスタディツアーの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・フードデザイン国際カンファレンスの開催 ・食のフィールドスタディツアーの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・フードデザイン国際カンファレンスの開催 ・食のフィールドスタディツアーの実施 		
二次交通		<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通網や周遊に関する実態調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題整理と計画検討 ・観光しゃとるバスと観光タクシーの新設 ・レンタサイクルの検討及び自転車ツーリングガイドの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルルートの設定及び新たな運行システムの実証試験の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな運行システムの運行開始 ・レンタサイクルの運行 	
情報発信・案内表示		<ul style="list-style-type: none"> ・外国語版鶴岡ガイドブックの作製 ・市HPやSNSにより観光情報を外国語で発信 ・鶴岡駅観光案内所のJNTO認定申請 ・欧州メディア招聘ツアー実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語、外国語対応ボードの更新 ・欧州メディア招聘ツアーの実施 ・欧米プロモーションの計画的実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語、外国語対応ボードの更新 ・フードデザイン国際カンファレンスの開催 ・食のフィールドスタディツアーの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語、外国語対応ボードの更新 ・食のフィールドスタディツアーの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語、外国語対応ボードの更新 ・食のフィールドスタディツアーの実施

※ 対象国 : フランス、イタリア、ドイツ、アメリカ、オーストラリア

4. 「食と農の景勝地」の認定…取組計画（ハード）



年度		H28	H29	H30	H31	H32
K P I	対象外国人 延べ宿泊数	500人泊	1,000人泊	3,000人泊	4,000人泊	6,000人泊
	対象外国人 旅行満足度	70%以上	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上
施設		<ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡駅前に食文化情報発信拠点並びに観光案内所の整備 ・食文化を学ぶ拠点となる施設整備の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡駅前に食文化情報発信拠点並びに観光案内所の整備、オープン ・食文化を学ぶ拠点となる施設整備の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・食文化を学ぶ拠点となる施設整備の検討、整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・食文化を学ぶ拠点となる施設整備の検討、整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・食文化を学ぶ拠点となる施設整備の検討、整備
二次交通				<ul style="list-style-type: none"> ・レンタサイクル拠点施設整備計画策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタサイクルの購入 ・レンタサイクル拠点施設整備 	
情報発信・案内表示		<ul style="list-style-type: none"> ・外国語案内表示板の整備、見直し ・主要観光地におけるWi-Fiエリアの整備（出羽三山、加茂水族館、駅観光案内所） ・登山道、散策道等における安全対策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・主要観光地におけるWi-Fiエリアの整備（順次拡大） ・登山道、散策道等における安全対策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・主要観光地におけるWi-Fiエリアの整備（順次拡大） ・登山道、散策道等における安全対策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・主要観光地におけるWi-Fiエリアの整備（順次拡大） 	<ul style="list-style-type: none"> ・主要観光地におけるWi-Fiエリアの整備（順次拡大）

※ 対象国：フランス、イタリア、ドイツ、アメリカ、オーストラリア

4. 「食と農の景勝地」の認定…目指すべき構想…



鶴岡ガストロノミー・フィールド・ミュージアム構想



地域全体を「食の博物館」と見立てて、地域の特色ある豊かな食文化にまつわる場所、行事、歴史、精神文化、産物や市民の活動などを、博物館の展示のごとく、巡り歩いてもらい、体験してもらう取組み。



5. 食文化による世界交流のまちづくり (取組事例)

2015ミラノ国際博覧会出展



出羽三山の精進料理ステージ

○各国パビリオンの中で一番人気といわれる日本館において、鶴岡市イベント広場の来場者数は2日間で約8,000人という、国内トップクラスの入込み状況



奥田政行シェフ料理ステージ



だだちゃ豆、地酒等の試食



出羽三山の精神文化紹介

5. 食文化による世界交流のまちづくり (取組事例)

インバウンド・プロモーション 事業



平成28年10月17日～21日、パリ・ユネスコ本部にて、日本のユネスコ創造都市(札幌、金沢、浜松、神戸、山形等)が共同で実施。鶴岡市では菓子職人によるデモンストレーションを行い、インバウンド誘客に向けてPRを行った。



出羽三山の精神文化紹介とほら貝体験



だだちゃ豆、地酒等の試食



また10月19日には、パリ市内の日本酒レストラン「メゾン・ジュサケ」で、現地旅行エージェント24名を招待しての観光レセプションを実施。

5. 食文化による世界交流のまちづくり (取組事例)

イタリア食科学大学との連携により、鶴岡が「食文化」の学びの場に

平成28年12月 イタリア食科学大学との3年間にわたる戦略的連携協定の締結



■大黒様のお歳夜を学ぶ

■市民との交流の輪が広がる

平成29年2月 提携後、「フィールドスタディ in 鶴岡」が開催。鶴岡が食の学びのフィールドに



■海のプログラム
(寒鱈汁作り: 温海地域)

■山のプログラム
(精進料理プログラム: 羽黒山齋館)

■学校給食プログラム
(学校給食センター: 大泉小学校)

平成29年5月22日 辻調理師専門学校との包括的連携協定の締結

～食文化交流による新たな街づくりへの動き～「食の教育研究プロジェクト」の展開へ



■ H29年5月22日:辻芳樹校長と
鶴岡市長との調印式

<概要>

食文化産業の振興についての包括協定を締結することによって、地方国立大学などの教育研究機関や料理人などの専門職との連携モデルをつくり、地方・生産地と都市・消費地との協働による実践的な教育研究活動を展開する。

<鶴岡市との主な連携内容>

- ・多様な「在来作物」の保存と伝承、鶴岡特有の食文化の研究による「学びのプログラム」の構築など、日本の食文化産業の発展に欠かせない「人材が育つ」環境づくりの構築を行う。
- ・世界中から「食文化」を学ぶ人たちが鶴岡に集い、交流し、新しい価値を共有する「拠点」となることための実践体制の構築
- ・同校の学生による鶴岡で学びのプログラムを実践

■ 国内の連携都市とのネットワーク

～鶴岡市(山形県)・鳥取県・志摩市(三重県)～

▶国内の連携都市との繋がりから、食に関連する課題解決のため「食の教育研究プロジェクト」に取組み、今後の各地域での持続可能な食文化産業の構築と人材育成を目指す。



【H29.05.12】

■ 東京での
合同記者会

- ・鶴岡市(山形県)
- ・鳥取県
- ・志摩市(三重県)

5. 食文化による世界交流のまちづくり (取組事例)



食文化情報発信スペース
鶴岡の食文化や食材、自然や風土を映像等により発信し、地域観光資源や滞在コンテンツに誘客
・4K映像発信
・観光客のラウンジ機能・食文化紹介



鶴岡市観光案内所
JNTO認定外国人観光案内所
・英語対応スタッフの配置
・東北観光案内所ネットワークサービス
・多言語通訳サービス(12言語)
・手ぶら観光サービス
・観光パンフレット提供
・情報検索タブレット配置
・コインロッカー・レンタサイクル



 Japan Tax-free Shop
免税カウンター
 フリー-Wi-Fi



文化体験スペース
FOODEVERキッチン
・料理体験・デモンストレーション
・映像活用イベント
・貸しギャラリー

マルシェ&レストラン・バル



ユネスコ食文化創造都市鶴岡 発信拠点のオープン
つるおか食文化市場FOODEVER

6. 鶴岡市地域公共交通網形成計画 (H28-32)

■ 本計画の基本方針 (目指す将来像) 「人」「文化」がいきいきと交流し、市民とともに支える「持続可能な公共交通」の実現
 ~ 将来の「鶴岡市」のあり方を見据え、コンパクト+ネットワークを形成 ~

基本目標

「基本目標 1」
市民のお出掛けを支える、「持続可能」な公共交通体系を確保します

【指標 1】市内バス路線の平均乗車密度

【指標 2】路線バスの財政負担割合

「基本目標 2」
将来のまちの姿を見据え、「まちづくり」を支援する公共交通を目指します

【指標 1】中心市街地でのバス乗降者数

【指標 2】公共交通利用による外出率

「基本目標 3」
人・文化の「交流」を支援する交通ネットワークを形成します

【指標 1】交通機関同士の接続性に対する不満度の減少

「基本目標 4」
市民とともに考え、築き、育む、「協働型」の公共交通を目指します

【指標 1】地域における協議会・検討会の設置数

【指標 2】公共交通による通勤・通学者の割合

「基本目標 5」
誰もが「わかりやすく・利用しやすい」交通環境づくりを行います

【指標 1】公共交通利用促進策の取り組み件数

【指標 2】公共交通利用による外出率(再掲)

目標達成のためのプロジェクト

1. 交流活性化プロジェクト

➤ 施策 1-1: 既存路線の見直しによる再編

- ① わかりやすいバス路線網への見直し ② 主要拠点間のネットワーク構築
- ③ 低利用・不採算路線の効率化

➤ 施策 1-2: 新たな公共交通システムの導入

- ① 観光対応路線の導入検討 ② 交通不便地域への交通システム導入検討
- ③ 通勤通学対応路線の導入検討

➤ 施策 1-3: 既存交通資源を活用した再編

- ① タクシーの活用 ② スクールバスの間合い利用
- ③ 観光バスの見直し ④ 民間バスの活用

➤ 施策 1-4: 交通結節機能の充実

- ① 小さな拠点の整備 ② 交通機関同士の接続性向上

➤ 施策 1-5: 運賃等の料金制度の見直し

- ① 料金上限制度の検討 ② 定額制運賃の検討

2. 市民協働プロジェクト

➤ 施策 2-1: 地域主体の交通サービスの導入

- ① 地域主体の交通サービス導入 ② 地域での公共交通維持体制の構築
- ③ 地域との意見交換会の開催

➤ 施策 2-2: 多くの機関と連動したサービス展開

- ① 商業施設・商店街・企業とのタイアップサービスの展開
- ② 新たなタイアップの可能性検討

➤ 施策 2-3: 公共交通について議論する場の創出

- ① 地域公共交通活性化協議会の開催 ② 地域公共交通シンジカムの開催
- ③ 高校生・企業とのワークショップ・意見交換会の開催

3. 環境改善・利用促進プロジェクト

➤ 施策 3-1: 交通環境の改善

- ① 高齢者向けの低床車両の導入 ② バス路線のナンバー化
- ③ 地域独自の車両デザイン ④ 待合環境の改善・整備

➤ 施策 3-2: 交通案内の改善・充実

- ① 鉄道・路線バスの一体化時刻表作成 ② わかりやすいバスマップ作成
- ③ 乗り継ぎ・運賃の案内充実 ④ バスロケーションシステムの導入
- ⑤ インターネットを活用した案内充実

➤ 施策 3-3: 公共交通に対する市民意識の醸成

- ① モビリティマネジメントの実施

公共交通の将来イメージ

エリア	概要	公共交通の機能・役割
中心市街地	まちの機能が集積する地域	・主要拠点間の連結 ・交通機関の接続性
郊外地区	中心市街地の外側(藤島、羽黒の一部、柳引、沿岸部を除く鶴岡地域)	・地域主体の交通システム(デマンド等) ・観光拠点との連結
遠隔地区	郊外地区の外側(鶴岡地域沿岸部、朝日、温海)	・地域内運行の交通システム ・観光拠点との連結

凡例

- 赤色二重線: 広域幹線系統
- 黄色二重線: 地域間幹線系統
- 青色二重線: 地域内交通
- 緑色二重線: 新規・代替交通
- 黒色二重線: 目的型交通

6. 網形成計画：交流活性化プロジェクト

インバウンド推進の交通拠点として、
バスターミナルを備えた商業施設を整備。乗継環境も改善。



S-MALL：バスターミナル





本事業は、鶴岡市の立地適正化計画（コンパクトシティ推進に向けたマスタープラン）で定められた都市機能誘導区域内の「誘導施設」の一つとして、全国で初めて株式会社庄交コーポレーションが民間誘導施設等整備事業計画（国交省）の認定を受け、この春、整備したもの。

このほか、平成30年4月までに東京第一ホテル鶴岡（集会機能を備えたホテル）とプラスワンつるおか（スポーツ施設）の2施設について、大規模改修を行うことにより、生活利便性の向上、中心部の賑わいの創出、公共交通のネットワーク強化等を図る。



6. 網形成計画：交流活性化プロジェクト

インバウンド観光の拡大を見据え、
関西・仙台圏との都市間直行バスを新設。

発車オーライネット  
web予約で座席指定可! 
発車オーライネット で検索! 

SAKATA TSURUOKA ←→ KYOTO OSAKA USJ

OVER NIGHT HIGHWAY BUS
1ヶ月前から予約可能!
夜行高速バス 夕陽

予約制
4.28金
運行開始

京都・神戸
大阪・USJ
高速バス+現地観光プラン
お得なバック登場!
◎予約センター Tel.0235-24-2550

酒田・鶴岡 京都大阪USJ

夢見ごちで別世界。

コンビニでらくらく!!
高速バスチケットは、コンビニの端末から購入OK!!
予約しておいたチケットを購入・発券もできます。お買い得です。

予約・お問合せ
庄内交通 TEL.0235-24-7600
酒田 TEL.0234-24-7600
南海バス TEL.06-6643-1007

1日1往復の夜行高速バス

庄内交通 高速バス 夕陽 HIGHWAY EXPRESS BUS

酒田・鶴岡 高速バス 一直行一
仙台国際空港

SAKATA TSURUOKA ←→ SENDAI INTERNATIONAL AIRPORT

4.1土 運行開始!

4/1
USJオープン
早くご利用ください
ご予約センター エスモールバスターミナル

コンビニでらくらく!!
高速バスチケットは、コンビニの端末から購入OK!!
予約しておいたチケットを購入・発券もできます。お買い得です。

予約・お問合せ
庄内交通 高速バス予約センター
TEL.0235-24-7600
予約受付時間 9:00~19:00
1ヶ月前から予約できます

仙台空港へ1日2往復

6. 網形成計画：交流活性化プロジェクト

旅行者向け観光二次交通を充実。
観光しゃとる・ぐるっとバス、予約制観光ハイヤーを運行。

鶴岡駅発着 予約制観光ハイヤー

国宝羽黒山五重塔・三神合祭殿と湯殿山参拝

運行期間 平成29年 6月1日～11月3日

JR鶴岡駅 随神門 国宝五重塔 (約40分) 随神門

三神合祭殿 (約70分) JR鶴岡駅 所要時間 約4時間30分

料金 (1名あたり)
小型ハイヤー 15,900円
ジャンボハイヤー 21,000円

予約受付 Tel. 0235 (22) 0055 Fax. 0235 (25) 0515

少人数なら料金もお得で安心

鶴岡観光しゃとるバス 羽黒山・湯殿山 運行マップ

区内観光路線 Aゾーン Bゾーン

月山八合目・月山神社
月山神社
湯殿山
湯殿山神社・月山神社

仙人沢 湯殿山神社

期間限定土日祝日運行・観光ガイド付き

鶴岡観光ぐるっとバス

運行日 4月29日～6月10日20日までの土日・月・祝日

乗降場所	1便	2便	3便	4便	5便
① 鶴岡駅前(4番のりば)	9:00	11:00	13:00	15:00	16:50
A 区内半堂	9:05	11:05	13:05	15:05	-
② 湯殿山神社	9:08	11:08	13:08	15:08	-
③ 湯殿山神社	9:09	11:09	13:09	15:09	16:57
④ 庄内観光物産館	9:16	11:16	13:16	15:16	17:04
⑤ 安良町(あまの公民館)	9:26	11:26	13:26	15:26	-
⑥ 加茂水族館(※休館日)	9:38	11:38	13:38	15:38	17:27
⑦ 湯野温泉	9:48	-	-	-	17:37
⑧ 加茂水族館(※休館日)	10:00	12:00	14:00	16:00	-
⑨ 大山野温泉	10:10	12:10	14:10	16:10	-
⑩ 庄内観光物産館	10:20	12:20	14:20	16:20	-
⑪ 湯野温泉	10:27	12:27	14:27	16:27	-
⑫ 鶴岡観光ブライズハウス清川	10:29	12:29	14:29	16:29	-
⑬ 山庄通り(富春ろうくでやでがむす)	10:32	12:32	14:32	16:32	-
⑭ 鶴岡駅前(4番のりば)	10:37	12:37	14:37	16:37	18:05

料金表

乗降区間	Aゾーン(平日のみ)	Aゾーン(土日祝日)	加茂水族館	湯野温泉
乗車料	300円	1,000円	1,000円	1,000円
加茂水族館	1,000円	1,000円	200円	200円
湯野温泉	1,000円	1,000円	200円	200円

予約受付 ☎0235-24-3207

期間限定・市内・水族館・温泉周遊

観光タクシー 鶴岡

歴史と文化の町・鶴岡市街地選択コース
クラゲ展示種類数世界一の水族館コース
国宝羽黒山五重塔と庄内文化記念館コース
国宝羽黒山五重塔・羽黒山三神合祭殿コース

2名 6,300円
3名 9,400円

JR東日本の観光タクシーも充実

路線バス：観光ルート別時刻表

観光地を經由する主なバス路線について、観光地の写真付きで経路図(バス停留所)や時刻を掲載し、観光者にも分かりやすい案内チラシを作成。バス案内所や車内、観光施設に配置している。(庄内交通)

6. 網形成計画：交流活性化プロジェクト

優良ドライバーの育成、確保し、
安全・思いやり運転で、快適な旅をお手伝い。

安全教育の徹底！

プロ意識の充実！

ドライブレコーダーによる
運転特性の解析と指導！



**バス運転者
育成コース
開校**

バス事業者にとって優良なドライバーの確保は喫緊の課題です。
庄内運転者育成学園では、バス事業者が真の良き運転者を積極的に確保できるよう、
バスドライバーの方々がプロ運転者に相応しい技術・知識・マナー等の研修を行います。

<ul style="list-style-type: none"> ☑ 訓練料金 基本料金(1人) 税込 221,616円 税別 206,200円 会費料金(1人) 税込 194,816円 税別 180,200円 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 訓練対象者 バスドライバー全職 一部バス管切バス・スクールバス他 ☑ 訓練日程・時期 8日間 総研修数38時間 ☑ 訓練内容 <ol style="list-style-type: none"> 1 バスの安全運転に關する基本的事項 2 バスの構造上の特性 3 交通事故を防止するために留意すべき事項・危険の予兆及び回避 4 公衆に対する迷惑防止 5 車裏の日常点検・実技 6 安全運転正行・実技 7 非常時の対応・応急措置の実技 8 応急処置実技
--	---

山形県認定職業訓練校
株式会社 庄内運転者育成学園
開校

shonai-pda.jp

TEL 0235-64-8533

〒997-0016 鶴岡市庄内町 20-48
TEL 0235-64-8834 E-mail shonai-pda.jp



その他検討中の施策

- お得な一日フリー乗車券の創設
- インターネット環境の整備
- 多言語によるバス案内表示、バスマップ、時刻表等の整備、作成
- 目的地や乗継を考慮したルートの変更
- 利用者に分かりやすいバス路線のカラーナンバー化
- バスロケーションシステム等の導入検討



UNESCO
CREATIVE CITY OF
GASTRONOMY

TSURUOKA